

## 施設入所者の地域生活への移行に係る実態調査の実施について

### 1 経過

- ・ 本市では、障害福祉計画において、施設入所者の地域生活移行者数の成果目標を掲げているものの、これまで達成できていない状況にある。
- ・ また、障害者施策推進審議会において、施設入所は本人の希望かどうか、地域移行を進めるに当たっての課題は何か等について実態調査を行い、分析する必要があるとの御意見をいただいている。
- ・ これらを踏まえ、本市の目標達成に向けて現状の課題及び今後の方向性について検討する必要がある。

### 2 実態調査の実施

#### (1) 施設入所待機者に対する実態調査

ア 対 象 施設入所待機者本人（本人による回答が難しい場合は、支援者や家族がサポートのうえ回答）

イ 対 象 数 施設入所待機者本人 254人（令和2年度時点）

ウ 実施手法 別途、調整

#### (2) 入所施設に対する実態調査

ア 対 象 障害者支援施設

イ 対 象 数 18施設

ウ 実施手法 別途、調整

### 3 調査結果の活用方法

調査結果にもとづき、成果目標の達成に向けて、今後の支援策の検討の参考とする。

#### (例1) 現行制度、支援策の見直しへの活用

- ・ 本市施策として不足している支援や新たに必要な支援等について、検証を行い、国への要望等へつなげていく。

#### (例2) 支援プログラムの開発

- ・ ワーキンググループ（当事者、事業者、学識での構成を想定）により、地域移行・定着に向けた支援プログラムを構築し、障害福祉サービス等の既存の制度を活用したモデル事業を実施する。
- ・ モデル事業の結果については、報告書にとりまとめ、広く活用していただく。

### 4 役割分担

上記2 実態調査 … 障害保健福祉推進室

上記3 調査結果の活用方法 … ワーキンググループ

（障害保健福祉推進室はオブザーバーとして参加）